

タウンミーティング 聴きたい、話したい まちのこと

日 時 平成29年3月26日（日）午後3時～4時30分

場 所 八丁分館（三角町会）

参加者 24人



主な意見等

参加者 まず、3つ目の調整池の設置が予定されていますが、現在の候補地で決定した場合、端にごみ置き場の設置をしていただければと思います。

次に、三角分館が三角地区の拠点と伺っていますが、古いので耐震性の問題があります。町会として、大事な場所ですので耐震診断や耐震補強といった対応をお願いできればと思います。

市長 ごみ捨て場に関しては、さまざまな課題がある中で地域の方の希望に沿った形でできればと思いますので、今の時点ではご要望として承っておきます。

また、三角分館に関して、建築年数も経っていますし、ご心配になられるのはもっともです。集会施設の在り方については、今歴代の自治組織連合会の会長さんたちなどの協力を頂きながら検討をしています。災害時は耐震性に十分配慮をしている三角小学校などをご利用いただければと思います。三角分館の耐震性については課題だと思っておりますので、ご要望として承ります。

参加者 八丁分館の耐震性も併せてお願いできればと思います。

市 長 併せて承ります。

参加者 先ほど話のあった調整池について、いつごろ出来るのでしょうか。また、建設予定地に自家用車の駐車場がある住民も多いですが、あの辺りは全部調整池になるのでしょうか。

市 長 駐車場は調整池の候補地として入っています。建設時期については、平成30年に用地を取得して31年度に工事開始予定です。

参加者 それでは、現在あの場所に駐車場を借りている人に対し、代替地のご提案のようなものはないのでしょうか。

市 長 駐車場に関して、需要が生まれるということですので、周辺の地権者の方に場合によってはその情報を流すということも可能かと考えています。

参加者 2点お伺いします。

1点目は空き家についてです。全国的な問題ですが、一人住まいの人が亡くなり、家が放置されると、廃屋に近くなり火災の危険なども多いです。ふじみ野市の空家の現状と対策を教えてください。

2点目は介護に関してです。特別養護老人ホームは、介護保険の要介護4か5でないと入れないと聞いています。特別養護老人ホームの建設予定と、将介護保険のランクが高くない人に対する市としてのケアの方策を聞きたいです。

市 長 空家については、把握している限りで市内に空き家は800件くらいあります。市の対策ですが、国のほうもこの問題を重く受け止めていて、空家等対策の推進に関する特別措置法ができました。これにより、あまりにも管理の悪い空家については特定空家として位置づけ、強制力のある処分をできるようになりました。地域の方の協力もいただきながら、実態を調査し該当する空家に対して、持ち主に対策をお願いしたり、シルバー人材センター利用が空家管理をしているといった情報を提供するなどの手段で改善を図っていきたいです。

介護については、おっしゃったように、特別養護老人ホームは要介護度の高い方が対象です。市としては特別養護老人ホームではなく、市民が優先で入居できる地域密着型施設を増やしていこうと思っています。

参加者 昨年12月の新聞で国の対策を読みました。空家の持ち主に補助を行い、耐震化などを促し、また入居者に対しては家賃を補助するという制度で早ければ今年の秋に始まると書いてありました。物件を自治体に登録するというものだったと思いますが、そのような話は聞いていますか。

市長 情報としてはもう来ています。また、おっしゃったのは新しい制度の話ですが、使われなくなった空家を国交省がうまく活用して住宅政策に役立てるといふ制度は既に動き始めています。市としては、ことし4月から組織の改正を行い、新たに係を設置し、空家の関係について特化した仕事を行ってもらおうと思っています。

参加者 先ほどの調整池の話に関して、境界立ち会いをしてくださいという話が来ました。

どこかにできるという話は聞いていましたが、具体的な場所については聞いていませんでした。場所が決まったかのように話がきました。私のフェンスは調整池予定地に接していて、家のすぐそばに池ができるのではと心配です。

市長 敷地の境界線はご自宅のすぐ隣にあったとしても、池との距離はこれからの話です。窓を開けたらすぐ池ということにはなりません。ご心配されているような事態にはならないので、安心してください。

参加者 私の家ともう一軒の別の方のお宅は地震でひびが入っています。それにもかかわらず、トラックが家の脇を通ると聞いています。危険なのではないでしょうか。

市長 工事に影響があるかどうかは入る前にきちんと調べます。この地域に池を造ることは下流部を助けることにもなります。この

雨水対策事業は非常に重要な事業です。しっかりやりたいと思います。

参加者 4月1日から軽度者介護の一部が介護保険から自治体の事業に移行されます。ふじみ野市の取り組みについて教えて欲しいと思います。

市長 市としては色々な団体にご協力いただきながら、介護予防を含めて進めていきたいと考えています。現在は制度の移行期で、今後、新しく要支援1・2に認定された人が市町村の対応になります。国の法制度の上で、市で精一杯出来る限りの努力をしていきたいと思えます。

参加者 今、加入しているいきいきクラブの位置づけを教えてください。会長さんの成り手がいないなどの問題がありますが、市による活性化の手助けなどはできないのでしょうか。

市長 平成29年度予算でいきいきクラブ連合会に対する補助金を上げました。それぞれの支部を応援してもらい活発にするということを意図としています。何とかいきいきクラブを元気づけていければと考えています。

参加者 家にこもってしまう高齢者の方に外に出てもらうような市としての方策はないのでしょうか。

市長 なかなか、一歩踏み出してもらうのが難しいです。人と接するのはいいことで、介護予防にもつながります。何とか、外に出てきていただけるようにしたいです。

参加者 交通手段がなく、手続きに市役所などに行くのに苦労しています。私の家は、市のはずれにあります。足が悪いとバス停に行くのが大変です。市内循環ワゴンは1時間に1本しかありません。近所の人も高齢化が進んでいるため同じ悩みを抱えています。朝だけでもい

いので、住宅の中にワゴンを走らせてほしいです。

次に、5年前防犯灯が切れました。その時、今後順次LEDに取りかえると返事をもらいました。この周辺は、人通りがなく夜になると真っ暗になり非常に不便な場所です。なるべく、切れないような電灯に変えてほしいと思います。

市長 市内循環ワゴンに関しては、他の地域でも同じ声をいただいていますので、今後色々な改善を図りながらやっていきたいと思っています。また、地域の皆さん同士でも協力していただければと思います。例えば、お出かけサポートタクシーは複数人で一緒に乗ってもらっても料金は同じです。互いにお声掛けいただいて、乗合をしてもらえれば経費を落とせます。

防犯灯につきましては、場所によっては農作物への影響を考慮する必要がありますが、基本的に今年度から市内全域をLEDに変えていきます。

参加者 お出かけサポートタクシーが行く場所を増やしてほしいと思います。

市長 なるべく便利にしたいですが、普通のタクシーと同じ動きをしたらお出かけサポートタクシーは認められないため、一定の制約をつけなければいけません。二人乗りの場合それぞれの家に降りられるようにすることについては何とかしたいです。皆さんのご意見をいただきながら、改善を図っていききたいと思っています。